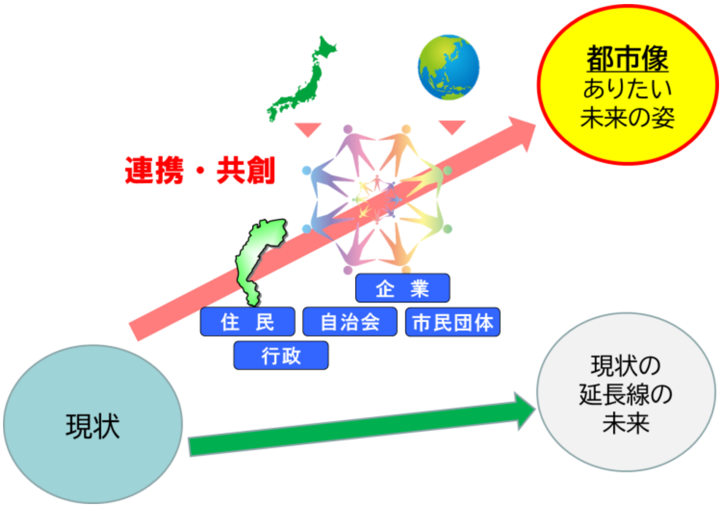
第六次総合計画（R6年度～14年度）の概要

総合計画とは

総合計画は、次の９年間で、市民等とともに目指す都市像（ありたい未来の姿）と優先的に取り組むべき重点分野やそれぞれの分野ごとのありたい姿を定めた市政の基調となる計画です。つまり、塩尻市の地域の未来への投資戦略であり、予算や活動の配分指針となります。



総合計画の構成

➢ **重点化を明示した戦略計画**

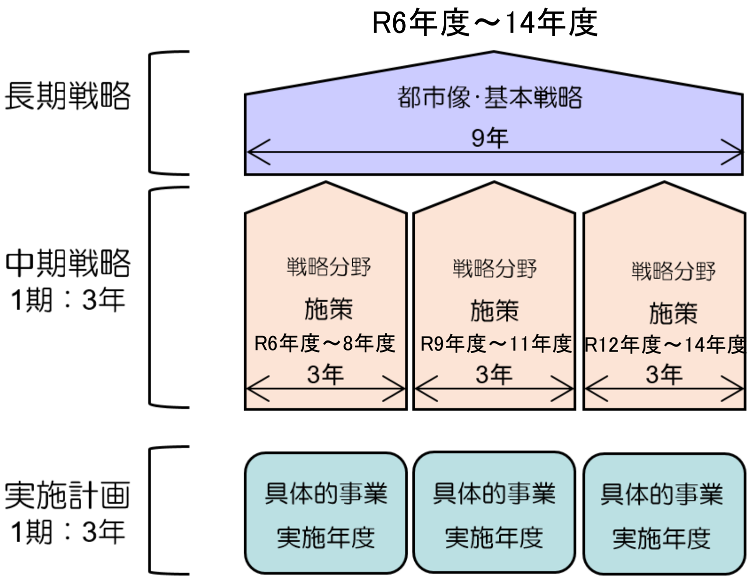
塩尻市が実施する全ての事業を記載するのではなく、重点化する約半数の事業を記載しています。

➢ **全体9年で1期3年毎の計画期間**

社会経済の変化に対応するため、１期３年という第五次総合計画の体系を継承しています。

➢ **目的⇒手段の関係**

長期戦略という「目的」を達成するための「具体的な手段」が中期戦略という関係になっています。



長期戦略	20～30年先の社会変化を見据え､次の９年間で、市民とともに目指す都市像の実現に向けて、市が重点的に取り組むべき分野や成果を上げるための方針を定めた、市政の基調となるものです。
中期戦略	長期戦略に基づき、３年間を１期として、各事業部の目標や目標に至るための課題や方策（何を重点に、どのようにやるか）を定めたものです。

政策の体系

長期戦略に掲げた目指す都市像と未来のありたい姿の実現に向け、９つの戦略分野において部局横断で施策を展開します。

目指す都市像

成果指標　①人口　②幸福度

基本戦略	戦略分野 と 未来のありたい姿（約束する価値）	施策（例）
基本戦略A 未来共育	**1　パートナーシップ・子育て** 一人ひとりや家族の多様性についての理解のもと、家庭環境によらず子どもと家族が応援され、安心して支援やサービスが得られています **2　学校教育** 子どもたちがワクワクする学びを自ら発見できるとともに、友達や関わる人たちと共感でき、「塩尻に帰ってきたい」と思う体験ができています **3　伝統・文化・スポーツ・生涯学習** 一人ひとりが日常を離れた活動を通じ、自身と次世代の笑顔溢れる豊かな生活をつくり、このことが新たなつながりを生んでいます。	1-4：ライフスタイルに合う預け先があることで、家庭で子どもと過ごす時間がより充実できる 2-1：「考える」「対話する」「共感する」「触れる」「活用する」学びの体験ができる
基本戦略B 共創循環	**4　地域経済・産業・観光・就労** 塩尻に魅力と価値を見出す人たちがつながり、喜びと誇りを持ちながら働き、多様で付加価値の高い事業・商品・サービスを支えています **5　環境・気候** 生活や経済活動で、エネルギーをはじめ調達可能な未活用資源が生かされ始め、生活の充実や楽しみになっています **6　行政運営・協働参画・連繋** 市民と市役所がともに「自分事」で始める取り組みが、多様な人材や組織をひきつけ、共創が加速しています	4-3：経営・設備投資・立地について相談でき、資金・資本確保につながる 5-4：環境についての知識が増え、環境負荷が見える化されたり、活動を楽しめる仕組みがあることで一歩アクションに踏み出している
基本戦略C 安心共生	**7　地域社会、支え合い** ゆるやかなつながりと、感謝が循環するお互い様文化で暮らしを支え合い、困りごとの解決に寄り添えています **8　医療・介護・保健・福祉** 一人ひとりが健康や老い等に向き合い、自らの心身の健康を守ることや周りに対してできることを考えた活動によって、日常生活を自立して送ることができています **9　防災・インフラ・まちづくり** 安定した都市インフラの上で、まちで活動したくなる仕掛けが充実するとともに、災害等から生活を守り、いち早く日常を取り戻す備えができています	7-4：話し合いの場ができることで、活動に参加・協力する人が増える 8-1：医療・介護・福祉に関わる人材が増えるとともに、緊急時や地域の医療が確保される 9-3：道路・橋梁・公園等が計画的に整備や維持・更新される

地域ブランド戦略

総合計画という市が提供する基本価値に付加価値を与え、他地域との差別化を図るために「塩尻市の強み」を生かした事業を実施します。

目指す都市像の候補

再定義してきた「田園都市」

●産業革命期の英国都市計画家E・ハワードの田園都市構想「都市と農村の結婚」
- 都市的機能と農村の機能の享受
- 循環系をもった独立都市

●第五次総合計画策定における再定義　**確かな暮らし　未来につなぐ田園都市**
- 持続可能（サスティナブル）　自立をさらに進め、30年後にも選ばれる
- 豊かで確かな暮らし　暮らしやすさに磨きをかける都市ブランド化

導出された「都市像」の言葉・要素

・言葉

バランス
よいサイズ感
果物・野菜
寛容
活動的
活力
新しいこと
チャレンジ
挑戦
冒険
チェンジ
変化
応援

調和
心と生活
ゆとり
暮らしやすい
子育て
若者
安心
地域
貢献
伝統
一体感
老若男女

・要素

バランス
多様（多様性）
チャレンジ
安心
住み良い
自然
田園
まち
便利
だれにでも
どこでも
いつでも

・大切にしたいこと、気づき

前向きな人、人の気持ちや姿勢についての記述や考えが多く見られる

まちとしての丁度いいサイズ感や便利な場所というところから、**生活の選択肢が多い個性や特性**がある

多世代が住みやすいことを望み、それを目指している

伝えたいところ、まちの人と共有したいところ

- いろんな人や暮らしがあり、またそれが可能なまち。生活の選択肢が豊富。
- それぞれが望む暮らし、挑戦したい物事を叶えられる土壌や気質があるまち。

①
多彩な暮らし、叶えるまち。
（彩り豊かな暮らし）
ー田園都市しおじりー

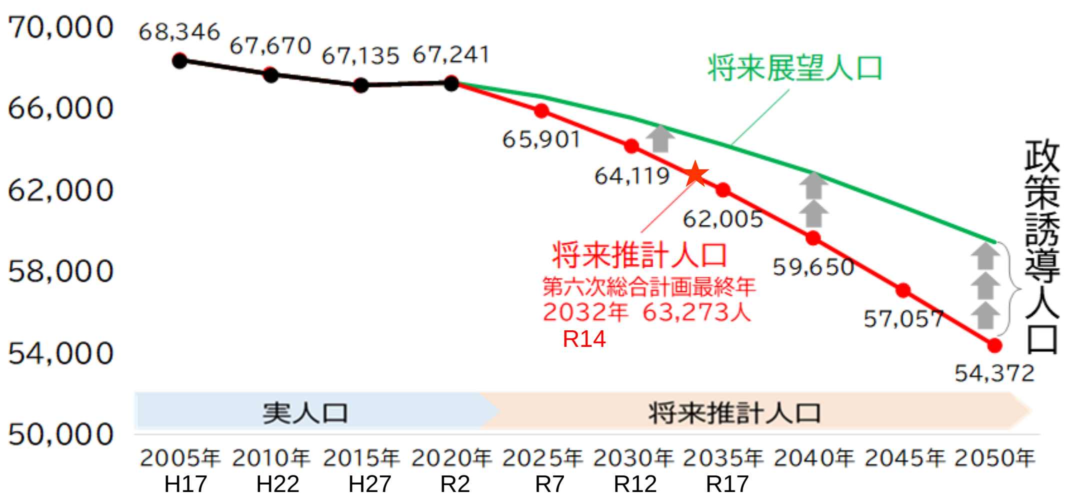
②
多彩な暮らし、多彩な人と。
（彩り豊かな暮らし）
ー田園都市しおじりー

成果指標

成果指標①　人口

令和２年（2020年）を基準とした推計では、本市の人口は令和14年（2032年）に約63,200人、2050年に約54,300人となる見込みです。今後、希望の子ども人数を叶えることによる出生率の向上や雇用の創出による社会移動など、政策誘導人口を加味した総人口の目標を設定していきます。

【基準となる推計人口と将来展望人口イメージ】



成果指標②　幸福度

これまでの「総人口」に加え、市民の皆様が感じる「幸福度」を最上位の指標として設定することで、単に人口を増加させるだけでなく、市民生活のウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に良好な状態）を高めていきます。また、幸福度と関連する指標を中期戦略の指標に位置付け、運用しながら幸福度に寄与する政策形成や評価システムの成熟を図る予定です。

<指標設定イメージ>

長期戦略　指標イメージ

新たに市民全体の幸福度を定期的に測定する

幸福度（主観）

現在、あなたはどの程度幸せですか？
「とても幸せ」を 10 点、
「とても不幸」を0点とすると、
何点くらいですか？

中期戦略　政策指標イメージ

戦略分野ごとに、主観＋統計指標を設定し、測定する

戦略分野（例）　パートナーシップ・子育て

主観指標

個人要因の幸せ　大切な人を幸せにしていると思う

協調的幸せ　将来世代に良い環境や文化を残したい